

## 古座川を考える会（古座川町内） 議事録（概要版）

日時：平成30年1月17日（水） 14：00～15：20

場所：古座川町保健福祉センター 2階 研修室



### 1. 開会

### 2. 議事内容

- 1) 古座川を考える会の設立趣旨・規約について
- 2) 古座川の現状と課題及び河川整備計画の目標と整備内容について

### 3. 審議内容及び決定事項

#### 3.1 設立趣旨・規約の承認

古座川を考える会の設立趣旨・規約について、事務局から説明を行い、委員の承認を得た。

#### 3.2 古座川の現状と課題及び河川整備計画の目標と整備内容について

古座川の現状と課題及び河川整備計画の目標と整備内容について事務局から説明。

説明に対する委員からの主な意見・質問は以下のとおり。

#### 〈主な意見・質問〉

◆河口にある港湾の浚渫により、砂利が流出して上流が洗掘されており、利用者がいると思うが何か良い方法はないか。（委員）

◆増水時に河口の砂州が無くなると下流は水害から免れると言われており、河口の砂州を掘削できないか。（委員）

→河口は古くから船舶の利用があり、港湾の施設として航路や泊地の水深を確保するなど機能を維持していく必要がある一方、従前より、波の進入を抑えつつ、出水時には洪水を流すことができるように浚渫の土砂を流用し、河口の砂州を維持している。なお、河口の砂州は洪水時には流出していることから、現状どおり維持していくように考えている。（事務局）

◆月野瀬まで潮が上がってくるので、下流を含めて掘削してもあまり効果が無いのではないか。(委員)

→河床高の調査結果からは、河内島付近より下流が感潮区間となる。通常の潮位であれば、下流の掘削により河川の水位は下がるため、月野瀬についても掘削による効果があるものと考えている。(事務局)

◆古座橋付近の中洲の掘削にあたり、川の流れを阻害する立木も土砂と一緒に取り除いて欲しい。(委員)

→中洲の一部が樹林化していることは確認しており、掘削にあたっては立木も併せて除去するように考えている。(事務局)

◆河川敷の流木は川の流れを阻害するので取り除いて欲しい。(委員)

→維持管理の中で必要に応じ対応していきたい。(事務局)

◆本川以外に支川の整備はどうなっているのか。(委員)

→今回の河川整備計画は本川を対象とした整備内容であり、支川は計画的な整備には位置付けていない。支川については、堆積土砂や立木の除去など適切な河道の維持に努めたい。(事務局)

◆計画期間を20年としているがもっと早くできないか。(委員)

→一般的に河川整備計画は20～30年後の中期的な河川整備の目標や具体的な整備内容を定めるものであり、古座川については計画期間を概ね20年としている。(事務局)

◆月野瀬の護岸が洗掘されているので、掘削する時は数値などで示して、確認させて欲しい。(委員)

◆掘削する時は大きな石を川へ戻して環境の維持に努めて欲しい。(委員)

◆整備だけではなく、堤防や護岸など既存施設の維持にも目を向けて欲しい。(委員)

### 3.3 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて事務局から説明。

## 4. 閉会